

意見交換会 要点筆記

令和7年11月7日（金）

テーマ：「住みよいまちづくり（公共交通など）」／「誰もが動いて学んで心もカラダも元気に」

### 【公共交通・道路整備】

市民から「公共交通について、市が市民の意見を聞くだけでフィードバックがない。交通会議は有識者ばかりで、市民の声が反映されていない。狭い道路が多く、ポンチョも通れない。道路計画や用地買収を専門的に進める部署を設け、もっと注力してほしい」との意見が出されました。

議員は「市民と研究会を重ねたにもかかわらず、市が一方的に決めたことを議会で指摘した。事業者の都合があったが、今後は市民意見を反映するとの答弁を得た。引き続き注視していきたい」と述べました。

市民から「滝坂レジデンスに住んでいるが、滝坂には窪んでいる箇所があり、道路課に補修を要望した。近隣でマンション計画があり、工事に際して掘った箇所は直すが、全体は直さないと聞いた。パッチワークのような状態になっているので、ぜひ現地を見に来てほしい」との発言がありました。

議員は「LINE 通報制度があり、写真を撮って送れば市役所に行かなくても対応してもらえる。担当者一人ではなく複数の職員で共有しているため、迅速に動いてくれる。私有地であっても地権者に話をしてくれる。大きな開発の際にはセットバックなどの条件があり、看板が出る。まちづくり条例などを活用すれば、トラブルを未然に防ぐことができる」と紹介しました。

議員は「私も滝坂レジデンスの件について、会長から話を聞くたびに担当課に要望している。マンションの敷地なので市は入れないが、減りが少ないと工事ができないとのこと。最近が高齢者を狙った犯罪も多い。防犯カメラを設置したほうが良い」と述べました。

市民から「富澤薬局前の十字路が危険で、杖をついて歩く人にはつらい。市に相談したところ『県道と私有地の境で市の管轄ではない』と言われた。市民の声がスムーズに届く仕組みをつくってほしい」との訴えがありました。

### 【まちづくり】

市民から「昔、4市合併の話があったが、和光市は板橋区や練馬区との合併を望んでいたのか。今もそうした動きはあるのか」と質問がありました。

議員は「当時は料金水準などの調整も検討されたが、住民投票で和光市だけが反対多数となり破談した。今は一部事務組合で広域行政を行っている」と説明をしました。

市民から「新座霊園は和光市民が入れないのではないか。東京都と合併したほうがメリットが多いのでは」との意見がありました。

議員は「火葬場は4市で共同建設を進めており、7年後の完成を目指している」と補足をしました。

#### 【平和と地域交流】

市民から「平和都市宣言を生かした議論を議会で深めてほしい」との声がありました。

議員は「平和事業として映画『僕は風船ばくだん』を紹介した。戦争を知らない世代にとって平和は当たり前だが、世界では今も戦争が起きている。平和事業をしっかりと進めるべき」と述べました。

議員は「和光市には平和の鐘があるが、今は使われていない。亀岡市では駅前に設置されていた。和光市でも駅前に設置して鳴らせるようにしたい」と提案しました。

市民は「五色の折り鶴を子どもに見せると、一生懸命作ってくれる。子どもたちにも平和への思いを伝えていきたい」と述べました。

市民から「和光市は緑と川に恵まれた良いまちだ。あいさつ運動を進めれば交流が生まれ、犯罪も減る。『みんなとの和で光る和光市』というキャッチフレーズを提案したい」との発言がありました。

議員は「声かけ事案のメールが届くこともあるが、あいさつは一日の始まりだけでなく、常に行うことが大切」と応じました。

#### 【介護・特養ホーム】

市民から「特養ホームが1か所しかないのはなぜか」と質問がありました。

議員は「秋田市では1万人に1施設ある。和光市も検討が必要」と述べました。

議員は「60人規模では事業者が応募しない。地価上昇もあり、設置が難しい」と説明しました。

議員は「和光市は在宅介護に力を入れてきたが、限界がある」と続けました。

議員は「介護人材不足は全国的な課題で、和光市は都内より賃金が低く、事業者が確保に苦労している。定期巡回などの分野で人材を活かし、流動化を進めることが重要」と述べました。

議員は「白子に施設ができると聞いた」と述べました。

議員は「それは有料老人ホームで、特養とは費用が異なる。特養を増やす方向性は正しい」と補足しました。

市民は「和光市は条件が厳しく、事業者が嫌がっていると聞いた」との話がありました。

議員は「私は西大和団地に特養ができると聞いた。規模が小さいと賃金が上がらない。有料老人ホームの話もあったが薬局になった。土地を取得して建設するのに何億もかかる。市が土地を提供するなどの工夫が必要」と述べました。

#### 【教育・子ども・ヤングケアラー】

議員が「少子化や教育について意見を伺いたい」と述べました。

議員は「共働き家庭が多く、保護者が学校の様子を把握できていない。ICT を活用して家庭と学校の連携を深めるべき」と提案しました。

市民は「北原小で交通指導をしている。子どもたちは時間に追われており、先生のあいさつが少ない」と述べました。

市民から「ヤングケアラーは市内にどのくらいいるのか。支援したい」と質問がありました。

議員は「過去に調査したが実数はつかめなかった。ただ確実に存在する。改めて市に調査を求めたい。親でも友達でもない相談相手が必要」と述べました。

議員は「私もヤングケアラーの子と関わっており、年 2 回交流会をしている。議員一人ひとりがつながりを活かして支援していきたい」と述べました。

議員は「先生方も保護者であり、働き方改革の中で地域の協力が必要」と述べました。

#### 【生活環境・喫煙・子ども食堂・自転車】

市民から「受動喫煙について、罰金は誰が取るのか。駅北口でバス運転手が喫煙している。私有地での喫煙も問題。市はどう考えているのか」と質問がありました。

議員は「過料は実質的に徴収困難で抑止的な規定に留まっている。私有地での喫煙配慮義務を設けたことは画期的であり、市には広報を強化してほしい」と述べました。

市民から「子ども食堂がどのくらい知られているのか。『浩治朗』という店で議員が支援していると聞いた」との発言がありました。

議員は「和光市では満願寺さんが最初に始め、今は浩治朗さんが熱心に取り組んでいる。私も農家グループで支援し、お米や野菜、お菓子を提供している。地区社協とも連携している」と説明しました。

市民は「浩治朗では住所を記入しているようだが、他でも同じか」と質問しました。

議員は「コロナの関係でそうしていたと聞いている」と答えました。

議員は「私もやっており、ケア会議でお母さん方と何が必要か話し合っている」と述べました。

議員は「地区社協で子ども食堂を担当しており、アンケート結果を活動に活かしている。多くの方に参加してほしい」と呼びかけました。

市民から「来年から自転車の危険運転が厳罰化される。市と警察で周知してほしい」との要望がありました。

議員は「違反項目は 100 以上あり、16 歳以上が対象。高校生も含まれる。周知を徹底しないと大きな問題になる」と述べました。

#### 【総括】

会では、平和・交通・介護・教育・喫煙など、生活に直結する多岐にわたるテーマで活発な意見交換が行われました。

市民からは日常の課題を踏まえた提案が寄せられ、議員からは制度面・現場面双方の視点から応答や改善策が示されました。

本会を通じ、市民と議会が課題を共有し、解決に向けた方向性を確認する貴重な機会となりました。